

※農政は活潑な動きを示しているがこうしたことから会津の農業も、改革をしなければ「これからの農業」として、平田農政課長を中心に今後の農政問題について、色々懇談して当面の問題を語ってもらった。

今までの農業 これからの農業

《農政座談会》

山りかどに来た農業、最近日本の農業の有り方について色々話題をまいておりますが、豊年と云われた、秋の取入れも終わったが、池田首相は国民所得二倍論を打ちあげ又将来農業人口を四割に減じたいと、最近の※

農村の機械化よりも頭の農業を



農協課長 平田 龍雄氏

平田 今までの農業、これからの農業と云う座談会を進めるのですが、会津若松市を中心とした農業と云っても話が多岐多分にまたがり難かしいと思うが一日論じてみるが結論が出ないから「頭の農業」からスタートする。平田 農業の機械化は、田舎から来る農法で、例えば水田、林業、果樹園芸と云った三角経営で、多少の不況が来ても困らない農業経営が必要ではないかと思う。その点アメリカ農業は企業化が...



若松地区農業改良推進協議会長 成田 正喜氏
会津酪農組合理事長 栗城 一雄氏
東山農業改良推進会長 石原 定司氏
市農政課長 平田 新六氏

農家の所得倍増は農業の企業化



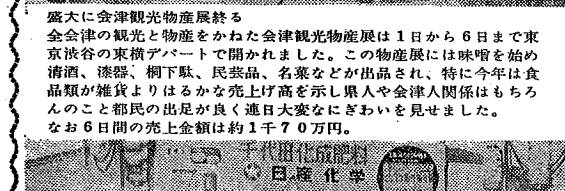
農政課長 成田 正喜氏

石原 農協の指導者がいなくとも、農家の所得倍増、補填の面からは、何と云っても農家の企業化ではないかと思う。平田 農家の所得倍増、補填の面からは、何と云っても農家の企業化ではないかと思う。成田 農協の指導者がいなくとも、農家の所得倍増、補填の面からは、何と云っても農家の企業化ではないかと思う。

粟城 だから会津の農業は発展しないのではないかな。昔から、会津の農家は生活的に極めて困ると云うことのないし、なんとかなる生活はやって行くと云うことが、部落部落にある習慣と云うか昔からの農法にこだわって古く慣習が強い。このことが会津農業の発展をとめている感がある。

平田 会津は今まで何と云っても米作農家が多岐多岐であり五反農家が大部分で、しかも収入の面では十数万円から五十万円までが大分を占め、兼業農家が大部分を占め、専業農家は農家は生活が苦しいという

成田 私は過去昭和三十年を起点に、三十年迄は増産農業であり、三十年からは専業より質と云う農業に変って来ておると思う。



第二次農業祭 会場 市市民会館



子供会表彰式 11月3日、若松市文化日に会津若松市子供会の表彰式が市市民会館で盛大に開催されました。本市の子供会は県下でもより全国でもその活動と組織は名を上げています。表彰対象は個人表彰が次の通り... 鳥居町子供会、なかよし子供会(北小路町)千鶴子供会(鶴ヶ丘)ふたば子供会(針ヶ谷)城西湯川子供会(南町)...

会津若松の歴史

～お知らせ～
今月末に刊行を予定されてました「図説会津若松の歴史」はその後鋭意製作が進められ、その一部は、すでに印刷に付されています。ただ、その内容充実を期した結果、写真も予定点数をはるかに超えることとなり、解説その他の記事も増えたため発行は十二月末頃の見込みとなり、未だ印刷の見込みが立たない。発行をお待ちの皆様、特に予約をお申し込みの方々に誠に申し訳ありませんが、もう暫らくお待ち下さるようお願い申し上げます。

新政から明るい生活を

新曆実施運動に御協力を願います

会津若松市公民館
会津若松市生活改善普及会

国民金融公庫年末融資を利用の方は

国民金融公庫会津若松支店が既に融資を受けているが、年末融資のためにも六割方返済の進捗を昨年末に資金手配を終結し、相談に際しては、五千万円の資金手配を終結し、相談に際しては、月途中で桂林寺町の会津同支店へ、または市商工も相当潤沢であり、特に課へ気軽に御相談下さい。新規の申込を期待しています。